

三原商工会議所 販売商業部会

「みんなで語ろう、Web 井戸端会議」1 月 回答者様のご意見

期 間：1 月期（令和 4 年 1 月 6 日（水）～14 日（金））

回答者数：65 人

設問①：どうすれば三原市が「若者が住み、結婚し、子育てするまち」になりますか？

●皆様からのコメント（86 件）

- ・子育て世帯住宅への賃貸代金の全額補助
- ・子育て世代への補助制度などの拡充
- ・18 歳未満の子供医療費の無償化と所得制限の撤廃
- ・中学生までの子どもの医療費を無料にする等
- ・ひとり親世帯の学習支援等も含めた子育て支援の充実
- ・子育てに係る費用を無料にする、医療・教育費なども
- ・子ども手当プラス三原市独自の給付金を市内で使えるクーポン等を配る
- ・子育て世帯への補助金充実
- ・子育て支援、援助の充実を図る（税金等の減免）
- ・住んだ時点で支援金（クーポン）を出す、幼児預かり施設の拡大
- ・若者が三原に移住してきた場合の住宅の補助や子育ての支援を行う
- ・子育て支援や生活における利便性の充実
- ・共働き世帯が増えているので、保育を充実させることで若者が住みやすくなる
- ・ファミサポのような一時預かりや送迎などの代行サービスの充実
- ・子育てに関する市設（公園、ショッピングモール、幼児教室、学習塾）を充実させる
- ・小さい子どもが遊べるところを増やす
- ・子ども向けのイベントが盛んであること
- ・子どもを育てやすい環境を整える
- ・子育てに関する市設と若者が求める施設（就労施設、結婚式場含む）などの住環境や特典を充実させる（老後まで家族が幸せに生活することがイメージできるように）
- ・子育て世代への支援やイベントの開催
- ・保育所入所の待機児童が発生しないようにする
- ・待機児童がゼロになり、仕事と子育てが両立できるようになる必要があるため保育支援の充実
- ・産婦人科、特に産科の充実
- ・進学校（中高）の誘致、塾や習い事など教育関連を増強し子供が選択できる体制作り
- ・子育てに不安がないまちづくりの PR をすること
- ・時短勤務可能な期間の延長
- ・チェーン店でもいい、たくさんのお店があること スタバやカルディやスシローなど

- ・若者が楽しめるパークを作る、子どもができて働きやすい職場をつくる
- ・遊ぶところと買い物が不自由なくできるまちになれば定住者も増えます
- ・遊べる施設が増えてほしい
- ・楽しい場所が増えてほしい
- ・大型とまでは言わないまでも、複合型の商業施設を誘致する
(いい加減ドラッグストアばかり増やすのは、やめて欲しい)
- ・それなりの収入が得られる仕事がある、安心して子どもの遊べる場所がある、映画館などの娯楽施設やそれなりの規模の商業施設がある。
- ・生活するために必要なものを調達するのは困らないと思いますが、それ以外の「レジャー」に関する施設が少なく感じます
- ・商業施設（映画、ショッピングモール、カフェ等）を増やす
- ・レジャー施設（映画館、ボーリング場、温泉施設等）が必要
- ・福祉の充実、大型商業施設の建設
- ・公園、ショッピングセンターなど休日に近場で楽しめる場所が必要
- ・テーマパークのような施設をつくる（小さな子どもから若者が楽しめるような）
- ・ソレイユのような大型のショッピングモールをつくる
- ・マンション、コンビニ、ドラッグストアばかりではなく、娯楽施設等も必要ではないかと思う
- ・商業施設が少なく、家族で遊びに行ける場所を増やすといいと思う
- ・映画館や遊園地、大規模な公園ができたらいいなと思います
- ・若者が興味のある店や娯楽施設を誘致する
- ・すべての商店を 21 時に閉店する（交通機関も含む）もしくは消灯時間を決める
- ・イオンやフジグランを取っても、他の地域の同店と比べて、テナントで入っている専門店の魅力を感じない
- ・人口さえ増えればスタバも映画館ものぞみも停車することを皆に認識させる
- ・元気な企業の誘致、補助金・手当の充実
- ・企業誘致をして働ける場所を増やす
- ・企業誘致、働く場所の確保
- ・(大) 企業の誘致
- ・三原市外出身者を対象に企業の誘致、低迷なら住居の供給、来三目的の強化
(観光、定住策拡大)
- ・三原市出身者を対象に企業の誘致
- ・働きたいと思える企業の誘致
- ・職業を充実させる
- ・企業誘致を促進する
- ・企業誘致、働く場所の充実
- ・雇用の確保
- ・地元から出た若者が帰ってきたいまちになるよう企業を誘致する。
- ・企業誘致を進め働く場所をつくる、土地区画整備を進め、一戸建（定住）への助成を行う。
- ・若者が働きたいと思う企業の誘致、生活しやすい店舗誘致、子ども支援のための団体・

制度の設立すること

- ・ 学生がUターンして働きたいと思える企業をアピール及び創出
- ・ 働くための企業が不足している
- ・ 地元で根差した企業が雇用を創設していく 新しいビジネスを始める方を支援する
- ・ 結婚をしても大丈夫と思え、子育てをするのに十分な収入のある就労先があること
- ・ 「働く場」が少ないと思う、学生が卒業後に就職する会社が三原市外だとそのまま引っ越ししてか帰ってこなくなってしまう
- ・ 大学があるまちにしては、活気がない、まずは若い力を活かして様々なイベントに人が集まるまちづくりが必要だと思う
- ・ 大学の誘致
- ・ 土地が高すぎる、新婚さんに新築を安く貸してあげる
- ・ Uターンする若者世代に特典をつける（無償で土地や建物を貸与するなど）
- ・ ファミリー向け賃貸住宅の新築・リニューアルの促進
- ・ 結婚&居住を条件に全国一高額な報奨金がでる三原市にする
- ・ 空家を活用して苦しい家族が住む家を提供する、税金を安くする、子育てに対する助成金をだす
- ・ 空家対策を進め便利がよい居住スペースを確保する
- ・ 仕事と住居があってほしい、子育て世代に安価で購入しやすい住宅を売り出し、その周辺を整備する、買い物も三原でできるように魅力ある店舗を誘致する
- ・ 手当をもう少し上げる等
- ・ 寄り添う相談が必要（相手の話を聞くこと）
- ・ 若者から「娯楽がない」などの意見がここ何年も言われているが何一つ解消していない意見を聞くだけではなく改善していく必要がある
- ・ 「なんにもないけど、不自由もしない不都合もない三原市」をアピールする
- ・ 福山や広島など少し離れた（知り合いに出会いにくい）デート場所があるとアピールする
- ・ 若者（特に若者夫婦）への特例措置。ズバリ経済的援助。
- ・ どんな若者をターゲットにするか明確にし、見合った対策をする
- ・ 知名度ブランド力育成強化、●●の三原と言ってもらえるようにブランド化が必要、例えば、学力の三原（子どもの教育に関心がない親はいない）
- ・ 道路の信号を工夫して渋滞緩和を希望します
- ・ 新築が多くなっている本郷地区について、本郷～三原市内間の渋滞緩和と水害対策
- ・ 魅力のあるショッピング施設整備、若者が勤務する企業、就職先の斡旋などを広くアピールする

設問②：外国人居住者は、生産にも消費にも存在感を増しています。三原に住み、貴社を利用していただくために、あなたは何をしますか。

●皆様からのコメント（60件）

- ・外国人だけに対して特別な対応はとらず、外国語対応の標識を設置する程度か対応できる外国人を雇用する
- ・外国人の雇用は既にしている これ以上雇用するのであれば行政の制度が枷となっている
- ・外国人を雇う
- ・外国語を話してコミュニケーションをとるようにする（4件）
- ・コミュニケーションがとれるように外国語（英語など）を話せるようにする
- ・外国人の方がコミュニケーションをとりやすい環境作り（言語力アップ）
- ・外国人に（日本語で）一生懸命話しかける よそ者扱いしない
- ・簡単なコミュニケーションをとることができるように勉強する
- ・英会話をはじめてコミュニケーションがとれるようにする
- ・まずは知ること 外国人の方が特別ではないという雰囲気作り（ただ、意志疎通が図れないレベルだと困るが）
- ・相手の伝えたいことや希望されることをしっかり聞いて対応する
- ・翻訳アプリの活用
- ・英会話を学ぶ（2件）
- ・英語等の主要語による情報発信や案内を充実させる
- ・インターネット（SNS）の活用が必要
- ・外国人居住者への案内板などを分かりやすくする
- ・外国の方も利用しやすいよう簡単な英語力を身につける
- ・簡単な英語力を身につける
- ・まずは知ることが必要、身近なところから接触回数を増やし、実態を知る
- ・外国人だろうと日本人だろうと、接客する場面があるなら、同じように対応すること
- ・駄菓子屋のような子供たちの社交の場を強く希望する（三原人と外国人の子供の交流）
- ・優しく接する
- ・何もできていませんが、外国語表記の案内や日常会話程度の外国語が話せたらいいなと思います
- ・外国人の方でも利用しやすい工夫を行う
- ・外国人の方が利用しやすいよう言語対応できるチラシ・パンフレットを備え置く
- ・外国人居住者に対する生活情報等の共有に資する環境整備
- ・外国人専用のガイドブック（飲食店・スーパー・施設等の記載）の作成
- ・日本語が苦手な人にも対応できるよう外国語（英語や中国語など）のパンフレットを用意、外国語がわかる人材を採用できるといいのですが・・・
- ・外国語での表示や看板を増やして分かりやすくする

- ・英語によるアナウンスなどの充実
- ・外国人居住者の勤務先を通しての職域セール
- ・認知度の向上、外国人が勤める企業や知人との振興
- ・英語表記の案内やパンフレットの作成、英語を理解する力を身につける
- ・最低限の英会話の習得
- ・外国文化や気質を学び、商品や帳票類に英訳を添付する
- ・消費力の高い若者の多い三原居住の外国人に、日本の食のおいしさを伝える
- ・品物の良さを知っていただくためチラシを作成する
- ・地元の企業を利用することの意義を知ってもらう
- ・親しみやすい企業イメージを発信する
- ・知っていただくために PR 活動を積極的に行う
- ・タコアピール
- ・衣食住を充実させる（住宅を提供する、手当をだす、なんでもいい）
- ・スポーツでも音楽でもよいので、気軽に集まれる場所を提供する
- ・まず行政で全体のデザインが必要
- ・外国人居住者へのアンケート
- ・メインバンクとして利用してもらえるよう丁寧で迅速な対応を心掛ける
- ・輸入食材の拡充
- ・働ける場所を提供する
- ・外国の方には、申し訳ないが、外国人居住者を優遇する必要はない
- ・何もしていません（5 件）
- ・わかりません（2 件）

設問③：2022 年、三原市の景気の見通しについてどう予想されますか？

●皆様からのコメント（58 件）

- ・CSIS にレポートに記載されている通り、日本の中小企業を減らすことを当面の目的としているため、今年も継続して不景気が続く見通しを立てている
- ・人口減少、高齢化による消費力の低下は景気の上昇につながるはずがない
- ・短期的に見て、行政はコロナ借金により積極投資もできず、With コロナを付加価値にする製品サービスの目が見当たらない現在、景気は底割れして最悪となるのでは？
- ・まずはコロナ禍前の水準になることを願っています
- ・三原の会社は尾道に移転してしまって、会社がどんどんなくなっているので、わかりません
- ・格差が広がる
- ・まだ耐えることになると思うが、この危機を好機に捉えチャレンジをしていくことが必要
- ・横ばいもしくは低迷 自粛要請が続きすぎたため市内での消費が低下している

- ・ショッピングは他人との接触機会の低減やより安く購入するためにネットにシフトしているから
- ・中小企業の廃業は加速、連鎖倒産など消費意識は萎縮、経済は急激に悪化する
居住人口（特に消費しなければならない子育て世帯）の増加が急務
- ・消費はやはりコロナ禍前より落ちると思う
- ・コロナ感染者も再び増えてきて厳しい滑り出しになりそう
- ・横ばい、飲食や観光に特化しているわけではないので、悪化はしないと思うが景気は期待できない
- ・飲食店に続き景気が全体的に後退する見込み
- ・コロナ第6波の影響もあり厳しい
- ・祭りなどのイベント事業を実施するか否かで大きく変わる、GW でまた感染者が増え、去年同様の流れになると思う
- ・コロナの影響があるうちは、景気の回復は難しい
- ・コロナ感染が落ち着くまでは、厳しいと予想、特に飲食、宿泊業
- ・地方はコロナ感染に対してまだまだ敏感なので、経済活動は厳しく 2022 年も景気は明るいと思えない
- ・2021 年と変わらずあるいは、ややマイナス
- ・コロナ禍による様々な制約が続いており見通しは厳しい
- ・通信環境などのインフラ整備の普及
- ・コロナウイルスの感染状況により、大きく左右されると思っている、少しずつでも感染状況が落ち着き、イベントができるようにならないと厳しいと考えます
- ・飲食店は引き続き厳しい、特に居酒屋など
- ・横這い、リージョンプラザ道向いに新しく商業施設が出来るが、店舗に新しさがなく、消費促進効果は少なそう、特にコロナの影響で悪化すると予想します
- ・コロナの影響もあり引き続き厳しい状況が続く
- ・コロナで落ち込んだので回復するのでは？
- ・人口減少、高齢化、コロナ影響から見通しは厳しいと思います
- ・コロナが収束しなければまちが元気にならないので、見通しは厳しい
- ・コロナが収束すれば持ち直すが、このままでは下降
- ・これといった産業がなく低迷が続くと思われる
- ・引き続き新型コロナウイルスの影響により、景気回復には時間がかかると予想します
- ・小売業者の影響がよくなればいい、コロナからの反動上昇
- ・コロナによって大きく左右される、原材料の高騰が生産者消費者の双方の負担になる
- ・2022 年もコロナの影響で景気回復は難しいのではないかとと思われる。
- ・三原市民の消費が低迷しているので、景気は回復しない
- ・コロナの影響もあり景気上昇は困難だと思います
- ・依然厳しい状況にあると推察します
- ・アフターコロナで回復は鈍い

- ・ 中小零細企業を中心にウィズコロナに対する遅れによる景気低迷
- ・ 人が出歩かないためよくなる見通しはない
- ・ 少子高齢化、事業所減少にコロナ禍でさらに見通しは立てにくい
- ・ コロナの影響もあり特に外食業界において悪くなる
- ・ コロナウイルス感染症の収束が不透明であるため収束すれば、回復傾向にむかう
- ・ 悪化（停滞・良くないなどマイナスイメージ）9件
- ・ 変わらない（3件）
- ・ わかりません（2件）
- ・ 従来より景気が少し回復

設問④： 次回の「みんなで語ろう、Web 井戸端会議」で、取り上げてほしいテーマはございますか？

●皆様からのコメント（49件）

- ・ 事業継承の準備にあたり困っていることは何ですか？
- ・ 近々に起こるといわれる、南海トラフ地震へむけてどのような心配事があり、どのように準備を進めていますか？
- ・ 働くうえでの信念はなにか？
- ・ どうすれば帝人と三菱が新規工場を誘致してくれるか
- ・ タコ以外で三原名産にしたいフード
- ・ 農業
- ・ 新しくできたお店などを紹介してほしい
- ・ 市民が三原のことを外に自信を持って発信するには？
- ・ 三原市の知名度の上げ方
- ・ 三原のオススメスポット
- ・ 三原市内の店舗から商品を購入できるインターネットサイトを開設するにはどうすればよいか、すでに尾道市は始めている
- ・ コロナ騒動はいつ頃落ち着きを取り戻すか
- ・ 中長期の三原の未来像を想像する
- ・ 鬼の豆の文化はまだ続いているのか
- ・ コロナが落ち着いたら何をしたいか
- ・ 三原の駅前がどうすれば明るく活性化するか
- ・ コストをかけず利益を伸ばす手段
- ・ 神明市
- ・ ペット
- ・ 三原市の観光資源の活性化について
- ・ 円一町の広大な遊休地（帝人工場跡地、図書館、市施設の跡地）の有効活用について
- ・ 流行に対して
- ・ 小中学校力向上、アクティビティな施設（筆影山から海のジップライン）
- ・ 子どもにとって住みよいまちにするために何ができるか

- ・ 中小企業の抱える人材育成について
- ・ 三原市の人口減少について
- ・ コロナ収束後の生活について
- ・ 三原駅周辺の活性化策について
- ・ 三原市の魅力はなにか（観光、祭り、制度、何でもよい、皆が知らない魅力がないか）
- ・ 環境、SDGS
- ・ 活力があり、継続できるイベントについて
- ・ 今後導入してほしい補助金・助成金について
- ・ 「郷土愛」とは？需要とは？
- ・ 三原のレジャー
- ・ コロナ禍での各祭りの是非について
- ・ デジタル化推進について
- ・ 子ども学習支援
- ・ 三原市の活性化
- ・ 三原市の観光地や土産について
- ・ 買い物や飲食の利便性について
- ・ 若者が政治に興味を示すようなテーマ
- ・ 三原人の気質について
- ・ 三原に観光スポットをどうやって作っていくか
- ・ 雇用機会の地域間格差と若者流出
- ・ 特になし（5 件）

今回のテーマは以上です。ご参加ありがとうございました。

引き続き 2 月も実施します。